

COI ワークショップ

再生可能エネルギー大量導入時の電力システムのあり方と水素の役割

再生可能エネルギーが大量導入した際には、電力システムの運用・制御について、これまでとは異なる技術や観点が必要である。また、電力市場が今後自由化し、小売の全面自由化、発送分離が行われることから、こういったアンシラリー・サービスについてはだれがどの程度負担するか、という枠組みの構築も必要である。さらに、燃料電池車における水素利用を始め、再生可能エネルギーが大量に導入した際には出力抑制ではなく、水素として貯蔵するという方策もあり得る。

本ワークショップでは、自由化市場のもと、再生可能エネルギーが大量に導入した場合の電力システム運用・制御について、必要となる技術や経済的負担配分の方法について、実務者・研究者・政府関係者を招聘し、講演・議論を行う。また、水素の製造・貯蔵・利用についても、最先端の知見を共有する。

- 日時 2015年9月16日(水) 13:00 ~16:00

- 会場 学士会館 202号室
- 主催 東京大学 COI (Center of Innovation)
- 共催 国立研究開発法人 科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター (JST/LCS)
- 定員 100名
- 参加費 無料

プログラム (案)

13:00-13:05 開会ご挨拶

是久 洋一 様 (九州大学 共進化社会システム創成拠点 (CESS) プロジェクトリーダー)

13:05-13:10 趣旨説明

松橋 隆治 (COI-S 研究リーダー/

科学技術振興機構低炭素社会戦略センター (LCS) 研究統括/

東京大学工学系研究科教授)

第1部：再エネ大量導入時の電力系統安定化技術とアンシラリーサービス

13:10-13:30 九州地域における再生可能電源導入と電力供給・需要側からみた総合的な対策

原田達朗 様 (九州大学 炭素資源国際教育研究センター 教授)

13:30-13:50 欧米における自由化市場での再エネ促進方策

矢島 正之 様 (電力中央研究所 研究アドバイザー)

13:50-14:05 アンシラリーサービスによる価値創成と費用負担に関する米国の調査結果

高瀬 香絵 (東京大学工学系研究科 客員研究員/LCS 特任研究員)

14:05-14:20 地域エネルギー事業者としての費用負担への意見

吉岡 剛 (東京大学工学系研究科 客員研究員/LCS 特任研究員)

議論 (15分)

休憩 (14:35~14:40)

第2部：貯蔵技術としての水素の可能性

14:40-15:00 再エネ大量導入における水素の役割と課題

土肥 英幸 様 (九州大学 水素エネルギー国際研究センター 教授)

15:00-15:15 再エネから水素を作る技術のコスト展望

三森 輝夫 (LCS 上席研究員)

15:15-15:30 九州地区における再生可能電源と水素利用事業の分析枠組み

松橋 隆治

15:30-15:45 議論：パネルセッション・議論 (15分)

本ワークショップでいただいたご発言等の公開について

本ワークショップは公開といたします。なお、プログラム、発表者については、後日ホームページで紹介予定です。ご発表資料について、発表者の承諾がいただけた場合のみ公開いたします。議事録については、発言者の皆さまに確認いただき削除希望のご発言などをご指定いただいた後、発言者を削除した形で公開予定です。ご発言については、ご希望の場合削除することが可能ですので、是非活発なご議論をお願いしたいと希望しております。

参加申し込み

e-mailにて事務局(ws@jst-lcs.jp)まで以下の項目をご記入の上、お願い致します。

(受付締切：2015年9月10日(木)17:00まで)

1. ご氏名 (必須)
2. ふりがな (必須)
3. ご所属 (必須)
4. 役職 (任意)
5. E-mail (必須)
6. 電話番号 (任意)
7. ご興味のある内容や参加のきっかけなど (任意)

※ご記入いただいた個人情報は、本ワークショップの開催の目的の範囲で利用させていただきます。

<学士会館アクセス>

地下鉄都営三田線/都営新宿線/東京メトロ半蔵門線 「神保町」駅下車A9出口から徒歩1分
〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28 TEL. 03-3292-5936 (代表)

